



### 流山おおたかの森教室 近況報告

#### 三年目突入

今年の春で、流山おおたかの森教室は三年目を迎えることができました。生徒、保護者、スタッフ、その他たくさんの方々の支援をいただき、ありがとうございます。本当にありがとうございます。

三年連続で本紙五月号の執筆を担当します。毎回書いていっていると、創学舎流山おおたかの森教室は「笑顔が集まる教室」を目指しています。そして、年々笑顔の量が増えていきます。生徒数が大幅に増えたので、それに比例して笑顔の数も増えただけでなく、人数が増えたことで休み時間や授業に、活気が出たことも笑顔の増加につながっています。コロナ禍での開校だったため、マスクを着用し、大きな声を出すことを控えてもらっていたのが、コロナ禍前に戻ってきたことも活気が出てきた一因かもしれません。



ただ、開校から通ってくれている生徒の中には、人数の急増に驚いている方もいるかもしれませんね。そこで、私が考える生徒数が増えるメリットを少しお話しておきましょう。

一つ目は、生徒数が増えると、より細分化したコース分けができることです。中学生は学力別のコース設定をしていますので、コース数が増えると、より適切なレベルの授業を受けるこ

とができるようになります。各コースには学力が近いライバルがいますので、集団指導の特長である競争意識が芽生えます。また、コース移動の対象が増えることにより、公開模試にも緊張感が漂うこととなります。

二つ目は、先ほどはライバルと書きましたが、言葉を換えれば、一緒に勉強する仲間が増えることです。一人ではどうしてもサボってしまいがちな勉強(私だけ?)ですが、「〇〇さんが頑張っているから私も頑張るぞ!」「〇〇くんと一緒に高校に進学するんだ!」と、苦楽をともにする仲間が増えることでモチベーションを維持することが出来ます。

三つ目は、コミュニケーション能力の育成です。小・中学生のコミュニケーションは同じ学校・地域のみで終わることが多いです。もちろん、その中で関係を築くこともとても大切ですが、成長とともにコミュニケーションが広がっていく中で、「勉強をする」という同じ目的を持った人が集まる塾は、コミュニケーションをとりやすい場だと思えます。当教室には、現在九つの小学校、十二の中学校の生徒が在籍し、流山市内だけでなく、柏市や松戸市の学校からも通ってくれている生徒がいます。異なる学校の生徒同士でも学校の話や流行など様々な情報交換をしたり、勉強を教え合ったり、たくさんコミュニケーションを取っています。

ただし、生徒数増加はいいことだけではありません。学校数が増えると中学校の定期テストの時期が揃わないため、進度調整や補講をする必要がでてきます。また、教科書が市によって異なる科目もあり、たとえば英語では教科書内容の一斉解説は難しいです。

そこで、教科書採択の違いを解消するために、無料特別講座として、当教室では「教科書英文ガイド講座」を開講しています。

なお、希望者を募っての無料講座としては、他にも小学生対象の「パズル講座」、中一対象の「理科・社会の特別講座」、小・中それぞれに「調べ学習講座」なども開講しています。これらは、在籍生のためのイベントではありませんが、創学舎に通っていない生徒もお試して参加できますので、興味があるご友人がいれば、ぜひイベントに誘ってあげてください。



▲「中1保護者会」での説明風景。本文で紹介したイベント詳細は、ブログをご覧ください。

このように生徒数が増えることのメリットは多いですが一概にはどちらがいいとは言えません。ただ、人数が増えたから今まで良かった面が見えなくなる、ということにはしたくありませんし、しません。生徒数が増えても、一方で、褒めて、叱って、認めて、生徒に寄り添うという創学舎のハイクオリティな指導はそのまま大事にして続けていきます。

今春の入試では東葛飾高校、小金高校、県立柏高校など上位校の合格者を輩出できました。三年目の今年もまだまだ成長していきます。もともと笑顔の花を咲かせます。これからもよろしくお願ひします。(佐々木)

### 新米夫婦一年生、一年間を振り返って

私事ですが、昨年六月に婚姻届を提出し、結婚生活をスタートさせてからもうすぐ一年が経ちます。楽しいことや上手くいかなかったことなど、いろいろと変化の多い一年でした。この記事を読まれている保護者の方々は新婚時代を思い出しながら、創学舎生のみんなは先生ののりけ話だと思っ

結婚して私の中で一番変わったことは、家に帰ると電気がついていて、温かいごはんが用意されていること、そして何よりたくさん話をしたい人が待っていることなど、お家時間の中で小さな幸せを感じることも多くなりました。この一年間、妻と一緒に過ごした時間はかけがえのない楽しいものでした。一緒に出かけたり、映画を観たり、美味しいごはんを食べたり、ゲームをしたり、楽しかった思い出話だけでこの記事を埋め尽くすことができるほどです。

一方で、これまで育ってきた環境が違う人と一緒に暮らすわけで、苦労することもたくさんありました。結婚してからS.M.A.Pの「セロリ」の歌詞が身に染みてわかるようになりました。休みの日に何をするか、何を食べたいか、どこに何を置かなど、ちょっとしたことでたくさん喧嘩もしました。そうしたやりとりをする中で、自分の価値観を見直すきっかけにもなりました。また、お互いの心の部分が見え、理解(愛)が深まったと感じています。結婚して一年の新米夫婦ですが、これからもこういった喧嘩は絶えないと思いますが、それが互いの成長と絆を深めることにつながっていくと信じています。

そして今年の四月、結婚式を行いました。式当日は、手のひらがキラキラ輝くほど汗びっしょりになりました。式中、教会を歩いていると伯父から「緊張しすぎだ。ロボットみたいだぞ。」とつつこみを入れられるほどでしたが、集まっていた皆さまに温かく祝福をしていただき、最高に楽しい一日となりました。



この一年間、他人を理解すること、相手を思いやること、自分の気持ちを表現することなど、たくさん学びがありました。創学舎生のみならず、これから先、進学や就職などで身の回りの環境が変化するときには、多くの学びと成長のチャンスだと思っ

### 東葛飾中学校受検情報説明会、開催

四月十五日(土)、柏教室で「東葛飾中学校受検情報説明会」が、Tコース在籍の保護者対象に開かれました。今回はその中で紹介した東葛飾中学校・高校の近況を報告したいと思ひます。

昨春中学から持ち上がった一期生が卒業を迎えた東葛飾高校。その大学進学実績がたいへん良かったことはお聞き及びの方も多いと思ひます。たとえば、東大は三名から九名へ三倍増、早大は九〇名から二二〇名へとというように好調で、今春もこの勢いは堅持されました。そのためか、開校以

来徐々に緩和してきた中学の倍率は昨春再び上昇して二〇倍以上となり、高校も今春は県下最大の二倍へと、中学・高校とも難化傾向にあります。しかも、東葛飾中学・高校の躍進は、大学進学実績にとどまりません。

#### ●ビブリオバトル

二〇一九千葉県大会準優勝

二〇二二千葉県大会優勝・全国大会出場(二期生)

#### ●Oxford Big Reed

二〇二〇中学生フイクション部門最優秀賞

二〇二二中学生フイクション部門最優秀賞

#### ●日本学生科学賞

二〇二二科学技術政策大臣賞

#### ●科学の甲子園

二〇二二千葉県大会優勝・全国大会総合二位・情報部門優勝(高校理科部。メンバー七名中六名が

内部進学生)

#### ●日本地学オリムピック

二〇二二金賞(二期生)・銅賞 金賞受賞者は、

同年国際地学オリムピックで銀メダル

#### ●クエストカップ全国大会

二〇二二企業探究部門グランプリ(中学チーム)

以上のように、数々の大会で東葛中・高生はめ

ざましい活躍をしているのです。今年に入っても

この勢いは止まらず、三月に行われた、

#### ●日本ジュニア数学オリムピック

で中学三年生が、銅賞。

先月TV放映された、

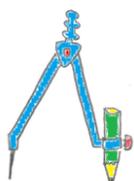
#### ●マイナビキャリア甲子園

では、東葛飾生を含むペアがグランプリを獲得

と注目すべき快進撃が続いています。(なお、以

上に挙げた受賞者の中には、創学舎で学んだ生徒

も二名おります)。



では、こうした生徒たちを輩出する授業はどんな内容なのでしょう。気になる方のために公開授業での私の見聞も交えて紹介しておきます。

まず、東葛飾中学校では、講義形式の授業はほとんどなく、どの科目もアクティブ・ラーニングを採用しています。生徒たちは各人がインプットした知識を、グループでシェアし合い、全体の前で発表IIアウトプットする、というのが基本の流れです。たとえば、理科の太陽系の時間では、

班ごとに分かれ、各自が自分のパートの天体について他のメンバーに説明をします。ある生徒はフリップをめくりながら金星について熱く語り、別の生徒はタブレットで土星の画像を映し出しながら

クールにナレーションをいれていく、という具合です。社会の世界地理では、各班がそれぞれ一つの気候帯を分担し、たとえば熱帯班ではメンバー

がそれぞれ気象、生態系、伝統的な衣装、食生活、住居、年中行事などのパートに分かれて調査、その結果を話し合つてまとめ、クラス全体の前でプレゼンをしていきます。

こうした活動はクラスや学年を超えて行われる場合もあり、学期ごとに行われる国語のビブリオバトルはその好例です。班、クラス、三学年全体

とステージを上げてバトルが繰り返され、学校全体のチャンプ本が決定します。また、それぞれの推し本は廊下に掲示され、シェアされます。

日本語を一切使わない「オールイングリッシュ」の英語でも互いに関わり、教え合い、学び合う協働学習は貫かれています。

こうした「協同の学び」は、それを高める様々な工夫によって支えられています。たとえば、学校が最も力を入れている総合的な学習では、「スパイダー討論」がよく行われます。討論中の発言を

すべて線で結び蜘蛛の巣状の記録が残ることから名づけられたこの話し合いでは、発言頻度だけでなく、各発言の性質が記号で評価され、振り返りを行うことで参加者の「聞く力・話す力」の向上が図られるようになっていきます。

東葛飾中学・高校生の各方面での活躍は、このように普段から行われている課題発見・課題解決能力を育成する新しい学力観に基づく教育の賜物と言えるでしょう。

この記事を読んで、東葛飾中学・高校に興味を抱いた方は、ぜひ難関に挑んでください。(片岡)

## 創学舎 百人一首大会

創学舎では、小学生を対象に『百人一首大会』を毎年開催しています。コロナ禍でしばらく中断していましたが、このたび4年ぶりの開催が決定いたしました。全員に参加賞、優秀者には賞品や表彰状を用意して、皆さんの参加をお待ちしています！

日時 6/17(土)

1:00~3:30

会場 創学舎 柏教室

